令和6年度 飯舘村表彰式

9月27日、令和6年度飯舘村表彰式を、交流センター「ふれあい館」で挙行しました。式では杉岡村長が、功労表彰の4人に表彰状と記章を授与。来賓の皆様のご臨席の下、長年にわたるご尽力に感謝を伝えました。

また、今回の表彰式では、コロナ禍以降初の祝賀会も同日開催され、出席者が表彰者に感謝と祝意を伝えました。

功労表彰

菅野 クニさん
（宮内）
飯舘村教育委員12年

功労表彰

故）遠藤 哲さん
（福島市瀬上町）
（令和6年1月24日ご逝去）
飯舘中学校長2年 8か月
飯舘村教育長4年10か月

功労表彰

佐藤 春雄さん
（大倉）
飯舘村消防団員33年

功労表彰

大和田 保男さん
（八木沢・芦原）
飯舘村消防団員39年

ご逝去された遠藤哲教育長の功労表彰に際し、妻の範子さん（前列左から2人目）にご出席をいただきました。

第７次総合振興計画 策定作業始まる

組織を立ち上げ検討をスタートしました

■ 総合振興計画とは

総合振興計画は、「飯舘村をどのような村にしていくのか」（＝目指す姿）と、「そのために何をするのか」（＝実現化の方針）を総合的・体系的にまとめた、村の最上位計画です。計画書は基本的に行政運営の方針書であると共に、目指す姿・目標を村民と共有したり、対外的に村づくりの方針を表明する、いわば「村づくりの羅針盤」となるものです。

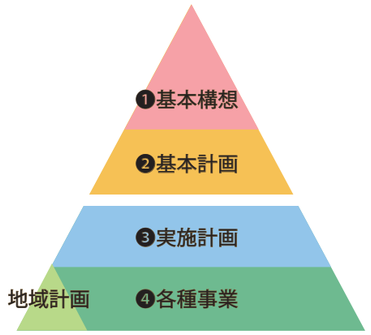
第７次総合振興計画は、令和８年度からの運用に向けて策定します。計画策定のための組織を立ち上げ、検討をスタートしました。

■ 第７次総合振興計画の構成

第６次総合振興計画（６次総）の後期計画では、行政運営の方針書として計画の構成を見直しました。第７次総合振興計画（７次総）も右のような構成で策定します。

東日本大震災以前、本村の総合振興計画は村民主体の地区別計画を中心にとりまとめたものでした。震災の影響で住民の移動があり、６次総策定時点では地区別計画の作成を見送りましたが、現在は「地域みがきあげ計画」として、６次総とは別に各行政区の取り組みが計画されています。７次総では名称を新たに「地域計画」とし、各種事業の中に位置づけます。

〈 第７次総合振興計画の構成 〉



■ 第７次総合振興計画の策定体制

大きく分けて検討・策定・諮問の３つの段階があり、それぞれに協議する組織を設置します。

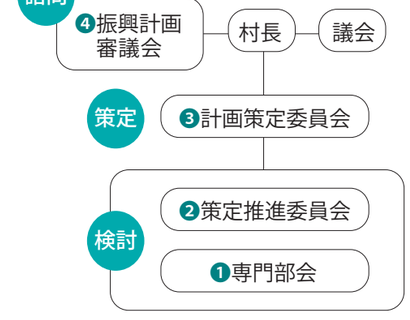
❶専門部会　村民と行政職員、有識者アドバイザーで構成します。施策分野に準じて、今期は４部会を設定しました。部会名とそれぞれの施策分野は右の図の通りです。主に村の目指す姿（基本構想）と各施策分野の目標、具体的な取り組みについて協議します。

❷策定推進委員会　住民や専門部会の意見のとりまとめ、調整を行います。また、吸い上げた意見等を施策として整理し、庁内で共有します。主に基本計画・実施計画について協議し原案を作成します。

❸計画策定委員会　原案を踏まえて全体的な計画の方針を決定し、基本構想・基本計画の最終案を提出します。

❹飯舘村振興計画審議会　村からの諮問を受け、振興計画の策定に必要な審議・答申を行います。

〈 第７次総合振興計画の策定体制 〉



専門部会構成

なりわい部会…産業・観光・DX・ゼロカーボン
健康部会…健康・医療・福祉
教育部会…教育・文化・スポーツ
生活部会…生活環境・交通・インフラ・防災・行財政

振興計画審議会（10月８日）

計画策定委員会（10月９日）

４部会合同専門部会（10月19日）